

〈〈 先物協会短信 2007—19号 〉〉

平成19年7月20日
日本商品先物振興協会

書籍の割引頒布のご案内について

下記書籍の割引頒布につきまして、ご案内いたします。
ご希望の会員は、(株)時事通信出版局へお問い合わせのうえ、お申し込み下さい。

なお、お問い合わせ及びお申し込み際しましては、先物協会の会員であること及び書籍の割引頒布割引の紹介を受けたことをお伝え下さい。

記

1. 書籍名等

書籍名：『商品先物市場発展の条件』

—————別紙(表紙、まえがき、目次(4枚))

ISBN 978-4-7887-0763-4

著者：河村幹夫・多摩大学教授

出版社：(株)時事通信出版局

体裁等：四六判・ハードカバー 171ページ

2. 割引価格：1,520円(消費税別・送料別)
(定価1,900円の2割引)

3. 問合せ・申込先等

(株)時事通信出版局 出版事業部

担当：植松美穂氏

住所：〒100-0011

東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル1階

電話：03-3501-9879

FAX：03-3501-3312

以上

本案内(短信)に関する問い合わせ先：

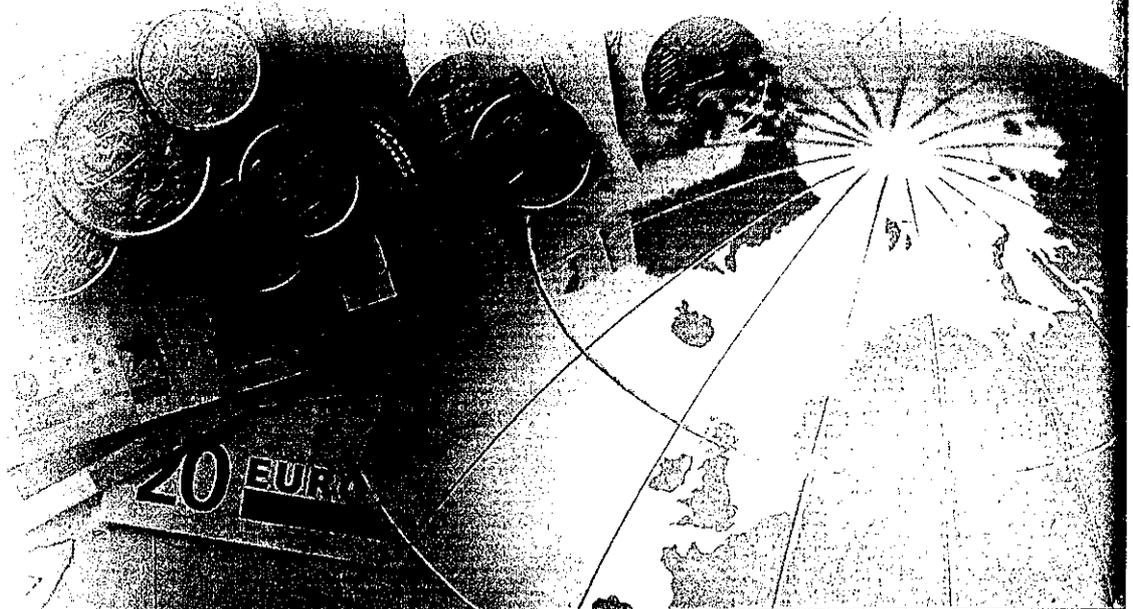
日本商品先物振興協会 総務部門 小林

TEL 03-3664-5731

商品先物市場 発展の条件

河村幹夫

KAWAMURA Mikio



緊急提言！

日本の商品先物市場が
国際競争力を持って健全な発展を続けるために。
そして資産運用型総合金融サービス業への
進化を求めて——。

時事通信社

X 115%

商品先物市場は海外では依然として高成長を続けているが、日本は反対に沈滞の極みにある——という評価が定着しつつあるのは、先物取引の経済社会的意義を確信し、産業インフラとしての業界の健全な発展を願う立場からみれば、極めて遺憾な事態である。

なぜこのような差異が生じているか——。筆者の理解では、主因は彼我の経済事情とカリスマ認識の違いによる、という以上に、日本の業界の構造そのものの中に求められる。しかし、グローバル化の波が押し寄せている中で、今や待ったなしの根本的な構造改革を実行しない限り、日本市場は世界のダイナミックな変化の中で取り残され、本来求められている機能を十分に発揮できず、経済社会への貢献が期待できなくなる。

そこまでは理解できても、しかし、実現可能で、説得的な将来設計図を提示できなければ、

どんな議論も空虚なものになってしまうだろう。この小著は筆者が一二年間にわたり、三菱商事フューチャーズ証券（現在）の月刊広報紙である「MCF Sマンスリー」誌に寄稿を続けている「デリバティブ・ノート」の中から、本書の目的に沿うような部分を抽出し、加筆・補筆の上、再編集して読者にお届けするものである。日本の商品先物市場が国際競争力を持って健全な発展を続けるために、この緊急提言が何らかの形で貢献できれば幸いである。

緊急提言という本書の性格上、極めて限られた再編集の時間の中で、快く引き受けて最善の努力をしていただいた株式会社時事通信出版局の常務取締役相沢与剛氏および出版事業部の植松美穂さん、ならびに多くの助言、示唆を惜しみなく提供していただいた業界関係者の皆様、また三菱商事フューチャーズ証券株式会社に関心から感謝の言葉を申し上げたい。

二〇〇七年六月

河村 幹夫

商品先物市場発展の条件 目 次

プロローグ 商品先物業界への緊急提言 ————— 3

1. 「顧客との共生」を業界として確認するマニフェストの公表と実行 5
2. 商品取引所から「先物取引所への進化」を通じて「全産業のインフラ」
となろうとする決意の確認 7
3. 「資産運用型総合金融サービス業」への早期業態転換 10

第1章 今こそ「冷静な分析」と「熱き思い」を ————— 13

1. 商品先物取引のイメージとは 13
 2. 過去と決別し資産運用型総合金融サービス業へ 21
- 〈商品先物取引業の現況〉 35

第2章 時代は確実に動いている ————— 45

1. 総合取引所構想 45
2. 商品先物業界の対応と現状 50
3. 商品先物業界内の変化 53
4. 経済社会の期待に応える「産業インフラ」 58

第3章 会社は誰のものか、業界は誰のためにあるのか ————— 65

1. 企業とコンプライアンス 65
2. 内部統制プロセスの確立のために 74
3. 商品先物業界と内部統制プロセスの確立 80

第4章 需要の喚起・顧客の創造 ————— 87

1. 「適合者」の増加が業界発展の鍵になる 87
2. 新規商品の開発と商品ファンドの見直し 94

3. 証券取引と商品先物取引 101

第5章 「先進国」からのメッセージ ————— 109

1. 英国のギルドに学ぶ 109
2. 変化の時代を先取りするLME 116
3. 英国のLMEからEJのLMEへ 123
4. 「先物先進国」米国からのメッセージ 130

第6章 「資産運用型総合金融サービス業」への展開 ————— 139

1. 日米両国市場の差異 140
2. 業界の構造改革の必要性 145
3. 金融サービス業界のメガ合併・メガ再編の流れ 147
4. 変わる商品先物取引 155
5. 取引員のあり方 159
6. 資産運用型総合金融サービス業への進化 160

エピローグ 現代に踊る「リスクの魔術師」たちと商品先物取引 ————— 165